

肛門科シニアレジデントプログラム（短期）

1. 診療科の特色とスタッフ紹介

1) 特色

音羽病院肛門科は『20万人アンケート 患者が決めた！いい病院 近畿・東海版』（リコンディショナル、平成15年12月発行）の肛門科部門で、京都で1位、近畿で4位にランキングされました。日本大腸肛門病学会の専門医修練施設（大腸・肛門の専門医を育てる病院。専門医になるには、修練施設での5年以上の修練を必要とします）です。関西の総合病院、臨床研修病院で肛門領域専門医指導医を有する病院は音羽病院だけです。年間手術症例数は平成18年度は約500例に達する予定です。肛門疾患のうち特に痔瘻の手術成績は日本最高であり、また入院期間は日本最短です。学会活動も積極的にこなっています（学術活動のページをご覧ください）。

2) スタッフ

加川隆三郎（部長）

専門分野：肛門外科学、肛門癌の治療

専門医認定・資格等：

日本大腸肛門病学会 肛門領域専門医／指導医／評議員

日本外科学会 認定医／専門医／指導医

日本消化器外科学会認定医

野村英明（医員）

専門医認定・資格等：

医学博士

日本外科学会認定医

日本医師会認定産業医

2. 研修期間 短期ローテート（3か月）

通常は音羽病院外科後期研修中で消化器病センター長、外科部長の許可を得たもの、かつ全身麻酔での消化器外科術者経験数100例以上のもののみ受け入れます。肛門科での手術症例数は日本外科学会認定医取得にも役立っています。しかし、日本大腸肛門病学会専門医（Ⅰa：内科系、Ⅱa：外科系、Ⅱb：肛門科系）の受験資格を得るためには音羽病院のような認定修練施設での5年以上の修練を必要とします。将来、肛門科開業を考えていらっしゃるかたには柔軟に対応します。修練期間は2年程度です。あらゆる種類の肛門疾患を経験させますのでしますので気楽にご相談ください。

3. 目標

【一般目標 GIO】

肛門科を専門としない一般外科医、臨床医として、各種肛門疾患の理解を深め、治療の基本、基本的手術手技、治癒までの管理を習得する。

【個別目標 SBO】

- 1) 外来で肛門の視診、触診、肛門鏡診をおこない、正確な所見がとれる。
- 2) 外来での血栓性外痔核、肛門周囲膿瘍などの診断、処置が適切におこなえる。
- 3) 重篤ではない一般的な痔核の手術（高位結紮切除術）、低位筋間痔瘻の病態把握、手術（minimal seton 手術）がおこなえる。
- 4) 高位痔瘻に対するMRIによる解析がおこなえる。また手術助手をつとめることができる。
- 5) 直腸脱の診断ができる。またデロルメ手術、人工腱埋め込み手術助手をつとめることができる。
- 6) 各種肛門疾患に対する適切な治療を選択することができる。

4. 方略 LS

- 1) 外来診療を見学する（長期の研修を希望するものは部長の判断である時期から外来を担当する）。できる限り多くの症例を経験する。正常所見・異常所見を判断する目を養う。
- 2) すべての手術に指導医のもとで参加する。
- 3) 入院患者の主治医となる。

<週間予定>

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	手術	手術	手術	手術	手術	手術
午後	外来		外来	外来 紹介外来	外来	

5. 評価 EV

外科研修の一環として評価される。研修記録、経験症例、経験手技などにつき自ら記録を残し、研修終了時に部長と面談時に提示し、評価を受ける。